



▼2年生が見学旅行(10月16日~19日)

どの世代でも、高校生活の一番の思い出に挙げるのが「見学旅行」です。厚真高校は今年、定番の大阪・京都・奈良と関西方面を予定通り巡ることができました。

▼1年生の苫東視察見学会(10月19日)

北海道経済部産業振興局の協力で、苫小牧市内の2工場を見学しました。ものづくり企業への理解を深めるのが目的です。光生アルミ北海道(株)・ファーム苫小牧工場を訪問し、ものづくり企業の製造現場を通して、その魅力に触れることができました。

▼1年生のインターンシップ(10月21日)

胆振地域林業担い手確保推進協議会の協力で、町内外で林業に触れました。午前中は町内の被災森林と植栽現場を見学し、苫小牧市の製材業ヨシダの製



見学旅行



インターンシップ(林業体験)



職場体験学習

▼防災教室(10月28日)

厚真町観光協会主催による防災教室を実施しました。午前は厚幌ダムの巡検を行い、午後は避難所運営を体験しました。災害に遭遇した際の対処法および災害支援について理解を深め、災害時に周りの人を「支える」「助ける」力について学びました。

▼2年生の職場体験学習

(11月1日、2日、4日)

働く喜びや厳しさ、自身の能力や適性を知るために職場体験学習を行いました。地域社会と連携を深めながら職業観や勤労観を育成し、地元企業を理解しました。町内訪問先は、厚真町スポーツセンター、図書室、こども園つきみき、有限会社蔵重目工、(株)のしい、こぶしの湯あつま、とまこまい広域農業協同組合、理容ぼん。ご指導とご協力ありがとうございました。

よりみち通信



「よりみち学舎」は、厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し、挑戦する公営塾です。

おにぎりプロジェクト

おにぎりプロジェクトです。よりみち学舎では、自らテーマを決めて活動する「プロジェクト」に取り組んでおり、今回は、外部の団体が主催する「おにぎりアクション」に参加しました。これは、SNSにおにぎりの写真を投稿すると協賛企業から発展途上国の子どもたちに給食が寄付されるという活動です。

厚高生たちが取り組んだのは、オリジナルおにぎりの考案と販売、町の方へのおにぎりアクションの周知です。試作を重ねて生まれた厚高生オリジナルおにぎりは、まちなか交流館「しゃべる」の協力で商品化され、町文化祭で販売しました。販売開始から1時間足らずで売り切れてしまい、「来年はもっとたくさん売りたい」と、生徒の充実感に満ちた表情を見ることができました。「急に人が来たので」といってチラシを配れずにいた生徒も、最初一枚を配ることができると、声かけから配布までスムーズに行えるようになりました。そのチラシに見事な挿絵を書いたのは、1年生のある生徒です。厚高生の自発的な取り組みが、多くの共感を集めました。

SNSでは、多くの方におにぎりアクションへ参加していただきました。活動終了後の生徒アンケートでは、来年もやりたいとの声が多く寄せられました。来年は、更にバージョンアップした活動にご期待ください。

教育魅力化支援員 川嶋圭



オリジナルおにぎりの完売を喜ぶ厚高生